

障害者支援施設 共 栄

(施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時支援)

令和 7 年度

事業計画

社会福祉法人 北ひろしま福祉会

【 目 次 】

I. 事業概要

II. スローガン、事業方針

III. 事業目標

IV. 事業計画

V. 運営

VI. 設備

VII. 年間予定

I. 【事業概要】

経営主体

社会福祉法人 北ひろしま福祉会

〒061-1123 北広島市朝日町2丁目6番9号

Tel011-373-8809 Fax011-373-8673

事業所名

指定障害者支援施設 共栄

〒061-1112 北広島市共栄276番地-8

Tel011-373-8671 Fax011-373-8672

利用定員

【定 員】【現 員】

施設入所支援	75名	75名
生活介護	75名	72名(法人内別事業所通所利用4名)
短期入所	4名	
日中一時支援	—	

サービス種別/事業内容

1. 施設入所支援

施設に入所する障害のある方に対して、主に夜間において、入浴、排せつ、食事等の介護、生活等に関する相談・助言のほか、必要な日常生活上の支援を行う為、以下の内容を実施します。

【個別支援計画の策定】

- ・利用者**の意思決定に基づいた**ニーズの確認

意思決定支援の必要な場面(①日常生活における場面、②社会生活における場面)に関する確認の機会として、意思決定支援会議を【年に2回】実施します。

日常の暮らしの中で、①個々の身体状況のアセスメントを更新、②個々の余暇(嗜好)時間にコミュニケーションを通してニーズ確認を実施します。

- ・モニタリング会議、個別支援作成会議によるニーズを把握し、個別支援計画書を作成と交付
個別支援計画に沿った支援の実施をします(4月と10月にご本人・御家族/保護者へ交付)。
- ・**看取り介護の同意を交わされた利用者の看取り介護個別支援計画を策定し、実施します。**

【栄養ケア計画の策定】

- ・栄養ケアマネジメントによる食事面での栄養ケア計画の作成と交付をします。
(栄養ケア計画作成は3ヶ月毎。4月と10月の個別支援計画書と合わせて交付)
- ・高リスク(2週間)、中リスク(1ヶ月)、低リスク(3ヶ月)毎の個々人の状況に合わせたモニタリング期間でモニタリングを実施します。

- ・栄養ケア計画に沿った嚥下状態等利用者の現状に合わせた食事提供の見直しを実施します。

【日常支援の実施】

- ・本人に安全で安楽な良肢位の提供、安全な介護の実践及び福祉器具の使用、身体機能の維持の為に機能訓練の実施、日常的なバイタルサインの確認、排泄ケア（排尿/排便ともに）、食事による栄養管理を実施し、早期に必要な医療が受けられるように通院支援を含めた、健康管理の全般を行います。

【地域移行支援】

- ・社会資源の見学や体験を通して、個々人のエンパワメントに合わせて自立した暮らしを実現していく事や、自身が暮らしていく上で受けられるサポートの内容に興味のある利用者と一緒に、グループホームへの移行を目指します。

【看取り援助】

- ・55歳以上の方（基礎疾患のある55歳未満の方も一部含む）を主として、これからの暮らしのニーズを把握し、共栄が最期の場所の選択肢の一つとなるべく、環境・サービス・ご家族との関係の整備を行いながら、年間を通して対象となりうる方のケース検討の継続を目指す。
- ・60歳の節目で、一般的な還暦にあたるお祝いを、長寿を祝う会として、年間で2回（5月、10月）に企画し、御家族を招いた懇親行事を継続して計画します。

2. 生活介護

常に介護を必要とする方の、主に日中において、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行う為、以下を実施します。※以下の支援内容における、個別支援計画策定、アセスメント、モニタリング、評価の実施は同様。

【生活介護（高齢期活動プログラム）】

身体機能の維持/向上、趣味嗜好から生まれる創作意欲・活動意欲向上と作品展示を通じた社会参加を目指します。

- ・年齢や身体状況に合わせた活動プログラム
（体操、ダンス、カラオケ、アダプテッドスポーツ、入浴・リラクゼーション等）
- ・身体機能維持及び介護予防を目的としたプログラム
（機能訓練、ウォーキング、マッサージ、スヌーズレン等）
- ・趣味や特技を活かせる創作プログラム
（裁縫、絵画、書道等、紙類裁断作業）

【生活介護（生産活動プログラム）】

共栄内の自分以外の人の役に立つ仕事を活動にする事をきっかけに、生産的な活動に繋げ、利用者の活動参加意欲の向上、働く事への喜びが就労に繋がる可能性を見出す支援を目指します。

- ・日用品運搬作業（トドッセル）
- ・生活用品ピッキング作業（共栄利用者が定期購入している、とどっく商品の仕分け作業）

- ・野球用品の磨き作業（北広島セルプの下請け作業）

【余暇支援プログラム】

- ・季節を感じられる行事の開催を企画し実施します。
※各パート単位の企画開催、行事担当による企画を開催します。
- ・日常の買い物プログラム/個別の外出を実施します。
利用者1名につき、季節を問わず、職員との個別の外出を計画し実施します。
※生活介護予定表に基いた買い物プログラム、各パート単位での外出/個別・グループ・私
的外出

3. 短期入所（ショートステイ）

自宅で介護を行っている家族が、病気などの理由により介護を行うことができない場合に、障害者支援施設を短期間利用してもらい、入浴、排せつ、食事のほか、必要な介護を提供します。また、施設入所希望のある方のアセスメントの機会として活用出来るように運営します。

4. 日中一時支援

障害のある方の日中における活動の場を確保し、障害のある方等の家族の就労支援及び障害のある方等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的として運営します。また、短期入所前のステップアップとして、施設利用に慣れる機会が確保できるように実施します。

5. 定例会議関係

- ①運営会議（係長以上）（毎月1回）
- ②パート会議（毎月1回）
※①、②共に、会議内で身体拘束適正化会議実施（偶数月）
※①、②共に、会議内で虐待防止会議実施（奇数月）
- ③各種プロジェクトミーティング（毎月1回）
※プロジェクトは別表①参照
- ④地域連携推進会議（年1～2回）
※利用者、家族、地域の関係者、福祉に知見のある方、経営に知見のある方、市町村担当者

別表① 共栄内 プロジェクト部門 一覧							
生活介護部門		専門技術部門		権利擁護部門		地域移行部門	
高齢/生産性		ノーリフト		虐待防止		地域移行	
		機能訓練		身体拘束適正化			
会 議	1回/月	会 議	1回/月	会 議	1回/月	会 議	1回/月
高齢部門		防災部門		企画部門		その他	
看取り援助		BCM(防災、リスク、感染)		行事企画		排泄ケア	
会 議	1回/月	会 議	不定期開催	会 議	1回/月	会 議	適宜

支援体制

	入所施設支援	生活介護	短期入所	日中一時
管理者	1 名			
サービス管理責任者	2 名			
生活支援員	常勤職員 45 名			
	一般嘱託職員 2 名 (内 1 名育休含む)、非常勤嘱託職員 6 名 夜間専従職員 1 名、インターン生 0 名			
看護職員	1 名			
栄養士	常勤職員 2 名 (管理栄養士) ※内 1 名育休含む			
配置医	1 名 (生活介護サービスに対して)			

Ⅱ.【事業方針】

法人理念に基づき5つの方針で事業運営に取り組めます。

- 1.『利用者の幸福（しあわせ）の追求、ニーズに対する積極的な実現』
- 2.『職員の幸福（しあわせ）の追求、やりがいのある職場作り』
- 3.『丁寧な介護技術の追求、介護者側・介護を受ける側双方に心地良い、ノーリフトケアの実践』
- 4.『暮らしの安心の追求、共栄を最期の場所に選んで頂く為の看取り援助の実践』
- 5.『利用者への権利侵害及び虐待防止の強化と身体拘束適正化の強化実践』

Ⅱ.【事業目標/スローガン】

【利用者の幸福（しあわせ）の追求、ニーズの積極的な実現】

利用者の日々の暮らしの中で表される喜怒哀楽の表現や行動から、その表現や行動の意味やその方の意思を尊重し、意思形成、意思決定に繋がる支援を行います。法人のみならず社会資源を活用しながら、多職種協働で、暮し/社会参加/余暇の実現が出来るように個別支援計画/活動計画/私的計画を作成し、実践し事業目標達成を目指します。

【職員の幸福（しあわせ）の追求、やりがいのある職場作り】

仕事を通じて、個々人に目標設定をしながら一人一人の職員の内なる喜びに繋がれるように、①好奇心、新しいことへの挑戦、②チームで課題解決、③自己承認と帰属意識の向上を高め、個々人の実践を形にして事業目標達成を目指します。

【丁寧な介護技術の追求、介護者側・介護を受ける側双方に心地良い、ノーリフトケアの実践】

利用者の暮らしの幸福（しあわせ）の実現において、利用者の高齢化による身体機能の変化から、年々介護の割合が高くなっている現状があり、基本的な介助技術のみならず、介護者側・介護を受ける側双方の心地良さ/職場環境における仕事のし易さにフォーカスを当てたノーリフトケアの実践/普及活動を行い事業目標達成を目指します。

【暮らしの安心の追求、共栄を最期の場所に選んで頂く為の看取り援助の実践】

施設入所者の最高年齢 **92歳**と基礎疾患のある **65歳**以上の利用者が多数暮らしており、個々人の人生に寄り添い、共栄が生ききる最期の場所の選択肢の一つとなるべく、環境・サービス・ご家族との関係の整備を行いながら、看取り援助の知識技術を高めていき、事業目標達成を目指します。

【利用者への権利侵害及び虐待防止の強化と身体拘束適正化の強化実践】

先の 4 つの目標の達成と、共栄の組織的な取り組み(内部の権利擁護委員会/身体拘束適正化委員会の配置、奇数月に虐待防止、偶数月に身体拘束適正化を検討する会議を実施)を通し効果的な牽制、日々の支援の振り返りを通し、個々人の倫理観を保つ事を継続し、事業目標達成を目指します。

IV. 【事業計画】

長期的な視点として、設備投資により、建物の増設で個室化を目指していく。

共栄利用者が、気心知れた人的環境で住み慣れた場所で最期を迎えられる環境に整備する。

看取り援助に必要な知識、技術、経験の向上を目指していく。

単年度展望


長中期展望に繋げるべく単年度単位で以下の取り組みを実践します。



- ① 看護ステーションと連携し、配置医との日常の健康管理から看取り介護期における協力関係を継続します。令和 6 年 12 月より、医療ケアの必要な利用者が生活されており、365 日体制の看護ケアと生活支援の実態をモニタリングします。
- ② 施設整備において、館内の修繕(厨房整備、トイレ、各居室、エアコン(相談室))/必要な福祉器具の導入を予算化し(眠りスキャンシート年間 10 台を予算化予定)、継続的に進めます。
- ③ 介護技術の底上げを図り、ノーリフトケアコーディネイターBASIC 資格取得、介護福祉士における喀痰吸引等研修(第 1 号・第 2 号)修了者を 1 名~2 名計画します。
- ④ 地域移行年間計画における地域移行の目標を年間で 1 名~2 名計画します。
- ⑤ 看取り援助の活動において、健康状態が看取り介護の対象者となった場合、障がい者支援施設の看取り援助に関する基本指針を元に、新たに「看取りに関する希望書」を取ります。
- ⑥ 安心ノートのツールを使用した家族へのアプローチ、長寿を祝う会、の家族を巻き込んだイベントを企画し、看取り援助に対する研修の機会を作ります。また、利用者個々人のアセスメントを取りながら、利用者の意向確認、家族の意向確認、介護ケア・看護ケアの内容を個別支援計画へ反映し、意思決定のマネジメント及びケアの見える化を図ります。
- ⑦ 職員の働く上でのやりがいや、働き易い環境を作る取り組みを継続しながら、令和 7 年度も F スタッフ受け入れを画策し、内部のサポート体制も継続していきます。
- ⑧ 「各種活動をご一緒に」をスローガンに家族会との協働による活動を行います。




新たな取り組みとして、2012 年以降に退所された利用者の御家族を対象に、令和 7 年 5 月に「桜の会」と称した記念行事を企画し、看取り援助の推進を兼ねた植樹祭を開催します。


VI. 令和 6 年度の取り組み


1. 幸福（しあわせ）を追求する事業展開




行動計画	取り組み	期間	SDG s
権利擁護 ①虐待防止会議 虐待防止、権利侵害を予防する為、年間を通して、共栄全体の気付きや課題を踏まえて検討した取り組みを実践/モニタリング/評価を繰り返し利用者様の変化、職員の変化を確認する。	権利擁護プロジェクト(内部委員会)を中心に事業所全体、職員個々人の取り組みを考案。 ①虐待防止について ○虐待/権利侵害を防止する為、①丁寧な支援の具体的な手法の実践、②心理的安全性の高い職場を目指し孤立させない・報告しやすい環境作りを実践し、PDCA サイクルでモニタリング修正を行い、 令和 8 年 3 月 に最終評価を行う。 ○奇数月に虐待防止会議を運営職会議(係長以上)、各パート会議で年計 6 回実施する。 ○共栄で起こり得るグレーな支援の抽出を行い、自分達の現状の自己覚知を行い、取り組み当初から年度末の状態変化を考察する。	令和 7 年 4 月～	3 すべての人に 健康と福祉を 
②身体拘束適正化会議 理由の無い身体拘束の防止、福祉器具使用による身体拘束適正化を図る為、年間を通して、共栄全体の気付きや課題を踏まえて、検討した取り組みを実践/モニタリング/評価を繰り返し利用者様の変化、職員の変化を確認する。	②身体拘束適正化について ○偶数月に身体拘束適正化会議を運営職会議(係長以上)、各パート会議で年計 6 回実施する。 ○福祉用具使用を推進していく反面、権利擁護/身体拘束の観点を入れた協議検討を行い、協議された内容を法人権利擁護委員会及び身体拘束適正化委員会での第三者視点での気付きや助言を頂きながら、身体拘束適正化を図る。 ※福祉用具使用時に【身体拘束を伴う福祉用具使用計画書】を作成する。 ○福祉用具使用の状況を定期的なモニタリングを通してその是非を十分に検討のうえ実施する。また、利用者様や家族への丁寧な説明と同意を得ながら進める。 ○共栄で身体拘束の起こり得る状態の抽出を行い、自分達の現状の自己覚知を行い、取り組み当初から年度末の状態変化を考察する。		

<p>生活介護</p> <p>①高齢期活動プログラム</p> <p>身体機能の維持/向上、趣味嗜好から生まれる創作意欲・活動意欲向上と作品展示を通した社会参加を目指す。</p> <p>②生産性活動プログラム</p> <p>共栄内の自分以外の人の役に立つ仕事を活動にする事を切っ掛けに、生産的な活動に繋げ、利用者の活動参加意欲の向上、働く事への喜びが就労に繋がる可能性を見出す支援を目指す。</p> <p>③買い物支援プログラム</p>	<p>①高齢期活動プログラム</p> <p>○年齢や身体状況に合わせた活動プログラムの実施（体操、ダンス、カラオケ、アダプテッドスポーツ、入浴・リラクゼーション等）</p> <p>○身体機能維持及び介護予防を目的としたプログラムの実施（機能訓練、ウォーキング、マッサージ、スヌーズレン等）</p> <p>○趣味や特技を活かせる創作プログラムの実施、内部ギャラリーでの作品掲示、外部の作品展への参加（裁縫、絵画、書道等、紙類裁断作業）</p> <p>②生産活動プログラム</p> <p>○日用品運搬作業（トドッセル）</p> <p>○生活用品ピッキング作業（共栄利用者が定期購入している、とどっく商品の仕分け作業）</p> <p>○野球用品の磨き作業を行う（北広島セルブ下請け作業）。</p> <p>○1回/1ヶ月生活介護担当者による会議を実施。現在の活動の実施状況についてのモニタリング、利用者のニーズを踏まえた活動プログラムの検討を行う。</p> <p>③買い物支援プログラム</p> <p>○週に1度（水・木）を買い物活動として、近隣の商業施設での買い物や飲食店での買い物をを行う。</p>	<p>令和7年 4月～</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 
<p>地域交流</p> <p>地域住民との交流の機会を設け、相互理解を深める。</p>	<p>○利用者の暮らしに潤いが持てるように、地域資源を活用して活動できるように内容を検討する（パート単位での外出/行事企画）。</p> <p>○地域福祉の推進として、北広島市社会福祉協議会との連携を基に交通安全運動や赤い羽根共同募金ボランティア、リングプル寄贈等の活動を行う。</p> <p>○ボールパークの近隣施設として、近隣住民との交流活動/障害への理解促進を形にする活動として、気軽に施設へ足を運べるような活動を計画する。</p>	<p>令和7年 4月～</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 



<p>行事、食事企画</p> <p>①行事を通して日本の伝統や文化に触れる機会を提供する。</p> <p>②行事企画により刺激のある1日を過ごせるようにする。</p> <p>③季節の食材を使用した食事を提供し、より豊かな生活になる事を目指す。</p>	<p>○1回/1ヶ月行事企画担当者による会議を行い、年間予定に沿って企画内容を協議する。</p> <p>5月 長寿を祝う会①(賞状贈呈)</p> <p>8月 共栄夏祭り/花火大会</p> <p>10月 長寿を祝う会②(賞状贈呈)</p> <p>ハロウィン企画</p> <p>12月 クリスマス会</p> <p>1月 正月企画(餅つき)</p> <p>2月 お寿司企画</p>	<p>令和7年 4月～</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 
<p>排泄ケア</p> <p>①一人一人の利用者に合わせた排泄ケアの実践を目指す。</p> <p>②排泄ケアに関する知識の普及とトイレ環境などの整備を検討する。</p>	<p>○利用者様の排泄ケアケースの実施</p> <p>※都度</p> <p>おまかせうんチーム、医療との連携により個々のアセスメントを根拠に、蓄尿に伴う疾病予防/防止に繋げる為の排尿状況のモニタリング、利用者様の快便に繋げる為の、下剤使用量の調整とモニタリングを実施し、適切な排泄ケアを実践する。</p> <p>○排泄に関わる用具を導入する※都度</p> <p>排尿コンチネンタルケアにおける、アセスメントシートの活用。</p> <p>ポータブルエコの活用。</p> <p>○トイレ環境などの見直し/設備改善</p> <p>A、Bパートのトイレ環境の確認を行う。</p>	<p>令和7年 4月～</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 
<p>ノーリフトケア、機能訓練</p> <p>①利用者の要望・状況に合わせた支援の見直しを行う。</p> <p>②利用者・職員双方が心地良いと感じられる環境作りを行う。</p>	<p>○ノーリフトケア会議の実施※1回/月</p> <p>○年間1名～2名ノーリフトケアコーディネーターBASIC資格取得を目指す。</p> <p>○全職員の法人のリフト検定取得する為の計画立案。</p> <p>○機能訓練センター/内部の機能訓練専門委員と連携して、利用者の状態変化に合わせたアセスメント、評価を実施し適切な福祉機器の導入を行う。</p> <p>※電動ベッド、車椅子等</p> <p>○眠リスキャンの導入</p> <p>令和11年に全対象者の眠リスキャンシート</p>	<p>令和7年 4月～</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 

	<p>導入の完了します※年間 10 台予算化。</p> <p>○福祉器具点検(1 回/月) 福祉器具使用者の担当者を中心に、福祉器具の状態把握を行う。</p> <p>○支援の質を高める勉強会 リフト技術/介護技術/救命講習を企画。</p> <p>○美味しく且つ安全なとろみ剤の活用 個々人の嚥下状況に合わせ、食事形態/トロミ剤の使用内容をモニタリング。必要に応じ、医療機関での嚥下造影検査(VF)を行い正確に状態変化を確認する。</p> <p>○スヌーズレン器具の整備 生活介護担当と連携し、スヌーズレン活動の環境整備を行う。</p> <p>○ノーリフトケアの普及活動 ノーリフトケア掲示板の運用を行う。 他法人の介護職員への実践報告/研修企画を継続企画する。</p>		
<p>地域移行 社会資源の見学や体験を通して、個々人のエンパワメントに合わせて自立した暮らしを実現していく事や、自身が暮らしていく上で受けられるサポートの内容に興味のある利用者と一緒に、グループホームへの移行を目指す。</p>	<p>令和 7 年度以降の地域移行を 1 名～2 名計画する。</p> <p>○月に 1 回、地域移行担当会議を行い、支援の方向性、進捗状況の確認を行う。 ※必要に応じて、拡大ケース会議を検討する。</p> <p>○入所利用者のニーズ調査の根拠として、法人内のグループホームの見学、行事参加、日常の暮らしの体験を実施する。 ※対象者となる方をアセスメントし、意思確認を行う。</p> <p>＜年間スケジュール案＞ 4 月、5 月 グループホーム体験会 6 月 地域移行候補者選定 7 月～ 地域移行プログラムの策定 12 月 家族/保護者へ最終説明と同意 1 月～2 月 最終準備</p>	令和 7 年 4 月～	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 



<p>高齢期ケア</p> <p>①利用者が安心・安全に生活できる様、支援に必要な技術と知識の習得を目指していく。</p> <p>②看取り援助に向けた体制作りを行う。</p> <p>③看取り援助推進室との連携を行う。</p>	<p>○高齢期ケアプロジェクト会議の開催(1回/月)及び、ケアカンファレンスの開催(対象ケースにより、1名~2名1回/月定期開催)2回/年間 看取り援助に関する勉強会を計画を目指す。</p> <p>○医療ケア・介護ケアの内容を個別支援計画に反映出来るように整備する。</p> <p>○55歳以上の方(基礎疾患のある55歳未満の方も一部含む)を主として、これからの暮らしのニーズを把握し、共栄が最期の場所の選択肢の一つとなるべく、環境・サービス・家族との関係の整備を行いながら、年間を通して対象となりうる方のケース検討の実践を目指す。</p> <p>○長寿を祝う会として、年間で2回(5月、10月)に企画し、家族を招いた懇親行事を計画する。</p> <p>※懇親会の機会に、看取り推進室と連携をして家族に対する勉強会の開催など、家族を巻き込んだ取り組みを検討する。</p> <p>○新たな取り組みとして、2012年以降に退所された利用者の御家族を対象に、令和7年5月に「桜の会」と称した記念行事を企画し、看取り援助推進室と連携し植樹祭を開催する。</p> <p>○日常の健康管理及び看取り介護期のケアについて看護ステーション、配置医との連携を強化しながら実践する。</p> <p>○ご家族への看取り援助に係る説明及び意思確認(複数回)に際し職員と一緒に面談の場に参加してもらい推進室の取り組みの理解促進につなげる。</p> <p>○職員向けの看取り援助の理解に向けた意見交換会や勉強会の開催(2回/年)に当たり内容や知識等における助言と理解促進の役割をもって参加してもらう(他事業所への訪問も検討)。</p>	<p>令和7年 4月~</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 
--	--	----------------------------	---

<p>栄養ケアの提供</p>	<p>○栄養ケアマネジメントによる食事面での栄養ケア計画の作成と交付（栄養ケア計画作成は3ヶ月毎。4月と10月の個別支援計画書と合わせて交付）</p> <p>○高リスク（2週間）、中リスク（1ヶ月）、低リスク（3ヶ月）毎の個々人の状況に合わせたモニタリング期間でモニタリングを実施。</p> <p>○栄養ケア計画に沿った嚥下状態等利用者の現状に合わせた食事提供の見直し、介助方法の見直しを実施する。</p> <p>○食事は施設における生活の楽しみの一つであり、利用者個々への最適な栄養ケアマネジメントを実践し、健康面、身体面を十分に考慮した献立を立て、安心、安全、健康に生活していただけるように配慮した食事提供/嚥下機能の状態変化の把握を行う上で、必要に応じ食事支援を行う。</p>	<p>令和7年 4月～</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 
<p>家族満足の追求</p>	<p>○家族への“安心”の提供のため、情報開示に積極的に取り組みます。また、面談などを通じて要望を聞き取り対応する。</p> <p>○家族と一緒にもしくは、本人や家族の意向を踏まえた、私的契約サービス（移動支援）を利用しての外出や自宅帰省を、個別の要望に応じて積極的に行う。</p> <p>○支援内容の周知を図る取り組みとして、家庭を訪問する（適宜）。</p>	<p>令和7年 4月～</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 
<p>後見人、医療機関との連携</p>	<p>○利用者の状態変化により、急性期医療及び延命・ACPに関わる内容には、医療ソーシャルワーカーや後見人、ご家族と連携して丁寧に対応を進める。</p>	<p>令和7年 4月～</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 

2. 地域福祉の推進を図る取り組み

行動計画	取り組み	期間	SDG s
インターン生、ボランティア、実習生の受け入れ ○次代の担い手に繋がれるように、インターン生の日常支援の補助業務のみならず、インターン生主体の企画にも挑戦してもらう機会を作る。 ○実習担当の役割分担を行い、受け入れを計画する。	○星槎道都大学との包括連携による、インターン生の活躍の機会を設ける。 ※新規学生受け入れを検討する。 ○ボランティアや実習生の受け入れを積極的に取り組み、地域の社会資源としての理解促進を図る。 ※社副実習受け入れ委員担当 保育実習受け入れ委員担当	令和 7 年 4 月～	 
地域の行事への参加	○地域での行事や町興し事業に積極的に参加し、近隣住民並びに、市内企業との繋がりを深め、将来の自助共助に繋がられる取り組みを行う。	令和 7 年 4 月～	

3. 災害に強い法人づくり

行動計画	取り組み	期間	SDG s
災害、リスク、感染症への対応	○災害及び防犯、感染症の研修を計画し、知識と予防、防災技術の習得を推進する。 ・ 感染症 BCM 訓練・研修 年 2 回 ・ 災害 BCM 訓練・研修 年 2 回 ○備蓄食の確認、使用期限を見据えて、訓練による消費と補充を行う。 ○事業所内の気付きメモの集計(1 回/月)及び四半期毎の考察を行い、事業所に潜んでいるリスクの洗い出しと対策を行う。	令和 7 年 4 月～	 
災害時の連携	○法人 BCM 計画に基づいたマニュアルの見直し確認を行う。事業所で BCM 計画に沿った自主災害訓練の実施。 ○地域の防災訓練への参加	令和 7 年 4 月～	

	○災害時の在宅障がい者の受け入れ体制の整備。		
--	------------------------	--	--

4. 魅力ある法人づくり

行動計画	取り組み	期間	SDG s
働きやすい職場環境の整備	<p>○配置基準に応じた職員配置（生活支援員）。</p> <p>※令和6年度 新設1.5:1配置とする。</p> <p>○超過勤務の削減に繋がる、業務整理/簡素化可能な記録媒体の検討。</p> <p>※プロジェクト部門統合/記録媒体（ミスヘルパー）の書式変更に着手する。</p> <p>○目標管理面談の進め方</p> <p>ポジティブに目標設定をしながら一人一人の職員の内なる喜びに繋がられるように、共栄で働く上で、①好奇心、新しいことへ挑戦したい内容②チームで課題解決する上で大事にしている事、③自己承認と所属意識の向上に対して自身が考えている事、を聞き取りし、個々人の実践が形に出来るに出来るように進める（係長以上の考課者）。</p> <p>○入職から数年経過した職員が、安心して働くことが出来るように、個人面談により業務を遂行していく上での問題点や悩みを聞き取り、適切な助言をする。</p> <p>○新任及び異動職員に対して、本人と業務確認を進めていく為、指導担当を設けて、マンツーマンでの業務指導及び、係長職、指導職と3者での目標管理を一定期間行い、共栄の事業計画に基づき定期的な振り返りと今後の目標の再確認を実施する。</p>	令和7年 4月～	 

	<p>○共栄内の衛生委員会(係長以上で構成)と権利擁護委員会とのタイアップで、職員のモチベーションに繋がる企画や、職員の働き方/活躍に目を向けた衛生活動を行う。</p> <p>○OF スタッフ育成ラダーを更新しながら主体的な業務が出来るようにアップデートしていく。</p>		
職員育成	<p>○法人スタンダード研修の参加調整</p> <p>○看取り援助推進室とタイアップした看取り援助の研修の実施。</p> <p>○内部勉強会の開催(ノーリフト/介護技術/救命講習/看取り援助/感染症)</p> <p>○国家資格取得に向けた支援(社福/精神/介護)。</p> <p>○ノーリフトケアコーディネーターBASIC 資格取得を1名~2名計画する。</p> <p>○介護福祉士有資格者における喀痰吸引等研修(第1号・第2号)を1名~2名計画する。</p>	令和7年 4月~	
職員の身体的な負担軽減	<p>○ノーリフトケア宣言の実践と啓発活動の継続。</p> <p>○福祉機器の導入と実践の継続。</p>	令和7年 4月~	

Ⅶ. 年間稼働/年間予定		令和7年度 年間計画					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
運 営	稼働率	97.5%	97.0%	97.5%	97.5%	97.0%	97.5%
	重度障害者支援加算Ⅱ	54名/日(98%)	54名/日(97%)	54名/日(98%)	54名/日(98%)	54名/日(97%)	54名/日(98%)
	短期入所目標 (利用日数)	30日	31日	30日	31日	31日	30日
	私的サービス目標 (移動支援)	5件(前年2件)	5件(前年5件)	5件(前年8件)	5件(前年3件)	5件(前年12件)	5件(前年14件)
	個別外出/グループ外出	宿泊を伴う外出(旅費・移動経費のみ請求)					
	入院時支援加算	入院時に随時算定					
生活介護部門 (生産性/高齢期)		会議/月間予定	会議/月間予定	会議/月間予定 第一四半期振り返り	会議/月間予定	会議/月間予定	会議/月間予定 第二四半期振り返り
専門技術部門 (ノーマリフト/機能訓練)		会議/福祉用具点検	会議/福祉用具点検	会議/福祉用具点検 第一四半期振り返り	会議/福祉用具点検	会議/福祉用具点検	第二四半期振り返り
権利擁護部門 (虐待防止/身体拘束適正化)		身体拘束適正化会議	虐待防止会議	身体拘束適正化会議	虐待防止会議	身体拘束適正化会議	上期振り返り 虐待防止会議
地域移行部門 (地域移行/地域交流)		会議/GH体験企画	会議/GH体験企画	会議/地域移行候補者検討 第一四半期振り返り	会議/地域移行個別プログラム策定	会議/体験・見学調整	会議/家族面談 第二四半期振り返り
高齢期ケア部門 (看取り援助/)		会議 看取りケースカンファ	会議 共栄長寿の会 看取りケースカンファ	会議 看取りケースカンファ 第一四半期振り返り	会議 看取りケースカンファ	会議 看取りケースカンファ	会議 看取りケースカンファ 第二四半期振り返り
企画部門 (行事企画/選挙)		会議 企画調整	会議 企画調整	会議 企画調整	会議 企画調整	会議 企画調整	会議 企画調整
防災部門 (BCM防災・リスク・感染)		備前会確認 気付きメモ集計	入所合同避難訓練 気付きメモ集計	気付きメモ集計 第一四半期振り返り	気付きメモ集計	気付きメモ集計 救命講習	気付きメモ集計 リスク検証 第二四半期振り返り
個別支援計画/栄養ケア計画		個別支援計画交付 栄養ケア交付 (高リスク・中リスクモニタ)	栄養ケア (高リスク・中リスクモニタ)	栄養ケア (高リスク・中リスク・低リスク モニタ)	栄養ケア (高リスク・中リスクモニタ)	栄養ケア計画策定会議 モニタリング会議 個別支援計画策定会議	栄養ケア計画策定会議 モニタリング会議 個別支援計画策定会議
その他		二計測	利用者健康診断 前立腺がん検診・定期採血 仮の会開催予定	家族勉強会(入所合同) 地域連携推進会議		共栄夏祭り 定期採血	職員健康診断 子宮がん・乳がん・骨粗鬆症検 診
共栄内広報・Facebook(SNS)投稿		部門会議/投稿	投稿	投稿	投稿	投稿	投稿

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
運 営	稼働率	97.5%	97.5%	97.0%	97.0%	97.5%	97.5%
	重度障害者支援加算Ⅱ	54名/日(98%)	54名/日(98%)	54名/日(97%)	54名/日(97%)	54名/日(98%)	54名/日(98%)
	短期入所目標 (利用日数)	31日	30日	31日	31日	29日	31日
	私的サービス目標 (移動支援)	5件(前年7件)	5件(前年9件)	5件(前年10件)	5件(前年 件)	5件(前年 件)	5件(前年 件)
	個別外出/グループ外出	宿泊を伴う外出(旅費・移動経費のみ請求)					
	入院時支援加算	入院時に随時算定					
生活介護部門 (生産性/高齢期)		会議/月間予定	会議/月間予定	会議/月間予定 第一四半期振り返り	会議/月間予定	会議/月間予定	会議/月間予定 第四四半期振り返り
専門技術部門 (ノーマリフト/機能訓練/排泄ケア)		会議/福祉用具点検	会議/福祉用具点検	会議/福祉用具点検 第一四半期振り返り	会議/福祉用具点検	会議/福祉用具点検	第四四半期振り返り
権利擁護部門 (虐待防止/身体拘束適正化)		身体拘束適正化会議	虐待防止会議	身体拘束適正化会議	虐待防止会議	身体拘束適正化会議	下期振り返り 虐待防止会議
地域移行部門 (地域移行/地域交流)		GH体験利用 モニタリング	GH体験利用 モニタリング	GH体験利用 第三四半期振り返り	GH体験利用 モニタリング	GH体験利用 モニタリング	会議/家族面談 第四四半期振り返
高齢期ケア部門 (看取り援助)		会議 共栄長寿の会 看取りケースカンファ	会議 看取りケースカンファ	会議 看取りケースカンファ 第三四半期振り返り	会議 看取りケースカンファ	会議 看取りケースカンファ	会議 看取りケースカンファ 第四四半期振り返り
企画部門 (行事企画/選挙)		会議 企画調整	会議 企画調整	会議 企画調整	会議 企画調整	会議 企画調整	会議 企画調整/振り返り
防災部門 (BCM防災・リスク・感染)		入所合同避難訓練 感染症BCM/PPEレクチャー 気付きメモ集計	BCM災害研修	気付きメモ集計 第三四半期振り返り	気付きメモ集計	気付きメモ集計	リスク総括 第四四半期振り返り
個別支援計画/栄養ケア計画		個別支援計画交付 栄養ケア交付 (高リスク・中リスクモニタ)	栄養ケア (高リスク・中リスクモニタ)	栄養ケア (高リスク・中リスク・低リスク モニタ)	栄養ケア (高リスク・中リスクモニタ)	栄養ケア計画策定会議 モニタリング会議 個別支援計画策定会議	栄養ケア計画策定会議 モニタリング会議 個別支援計画策定会議
その他			インフルエンザ予防接種 入所家族勉強会 地域連携推進会議	共栄クリスマス会		夜間従事者健康診断	
共栄内広報・Facebook(SNS)投稿		部門会議/投稿	投稿	投稿	投稿	投稿	投稿

※目標件数(令和6年度実績参考より)